

注 意 事 項

1. 試験問題の数は 120 問で解答時間は正味 2 時間 40 分である。
2. 解答方法は次のとおりである。
 - (1) (例 1)、(例 2) 及び(例 3)の問題では 1 から 4 までの 4 つの選択肢、もしくは 1 から 5 までの 5 つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例 1)、(例 2)では 1 つ、(例 3)では 2 つ選び答案用紙に記入すること。
 なお、(例 1)、(例 2)の質問には 2 つ以上解答した場合は誤りとする。(例 3)の質問には、1 つ又は 3 つ以上解答した場合は誤りとする。

(例 1)

201 近代看護の基礎を築いたのは誰か。

1. アダムズ, J.
Addams, J.
2. キュリー, M.
Curie, M.
3. ナイチンゲール, F.
Nightingale, F.
4. アインシュタイン, A.
Einstein, A.

正解は「3」であるから答案用紙の ③ をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

201	①	②	③	④
		↓		
201	①	②	●	④

答案用紙②の場合、

201	201
①	①
②	②
③	●
④	④

(例 2)

202 看護師の離職時の届出が定められているのはどれか。

1. 医療法
2. 学校教育法
3. 労働基準法
4. 保健師助産師看護師法
5. 看護師等の人材確保の促進に関する法律

正解は「5」であるから答案用紙の⑤をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

202	①	②	③	④	⑤
			↓		
202	①	②	③	④	●

答案用紙②の場合、

202	202
①	①
②	②
③	→ ③
④	④
⑤	●

(例 3)

203 看護師籍に登録されるのはどれか。2つ選べ。

1. 生年月日
2. 受験年月日
3. 卒業年月日
4. 就業年月日
5. 登録年月日

正解は「1」と「5」であるから答案用紙の①と⑤をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

203	①	②	③	④	⑤
			↓		
203	●	②	③	④	●

答案用紙②の場合、

203	203
①	●
②	②
③	→ ③
④	④
⑤	●

(2) 計算問題については、□に囲まれた丸数字に入る適切な数値をそれぞれ1つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例4)の質問には丸数字1つにつき2つ以上解答した場合は誤りとする。

(例4)

204 50床の病棟で入院患者は45人である。

この病棟の病床利用率を求めよ。

ただし、小数点以下の数値が得られた場合には、小数点以下第1位を四捨五入すること。

解答： □① □② %

- | | |
|---|---|
| ① | ② |
| 0 | 0 |
| 1 | 1 |
| 2 | 2 |
| 3 | 3 |
| 4 | 4 |
| 5 | 5 |
| 6 | 6 |
| 7 | 7 |
| 8 | 8 |
| 9 | 9 |

正解は「90」であるから①は答案用紙の(9)を②は(0)をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

①	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(●)
204	(●)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)

答案用紙②の場合、

204	①	②
	(0)	(●)
	(1)	(1)
	(2)	(2)
	(3)	(3)
	(4)	(4)
	(5)	(5)
	(6)	(6)
	(7)	(7)
	(8)	(8)
	(●)	(9)

- 1 日本の平成 25 年(2013 年)の生産年齢人口の構成割合に最も近いのはどれか。
 1. 52 %
 2. 62 %
 3. 72 %
 4. 82 %

- 2 運動習慣が身体機能に与える影響で正しいのはどれか。
 1. 筋肉量の減少
 2. 体脂肪率の増加
 3. 最大換気量の減少
 4. 基礎代謝量の増加

- 3 日本の平成 25 年(2013 年)における業務上疾病で発生件数が最も多いのはどれか。
 1. 振動障害
vibration disease
 2. 騒音による耳の疾患
 3. 負傷に起因する疾病
 4. じん肺症及びじん肺合併症
pneumoconiosis complications of pneumoconiosis

- 4 介護保険の給付はどれか。
 1. 年金給付
 2. 予防給付
 3. 求職者給付
 4. 教育訓練給付

5 臨床研究を行うときに、研究対象者の立場を擁護するために審査を行う組織はどれか。

1. 教育委員会
2. 倫理委員会
3. 医療事故調査委員会
4. 院内感染対策委員会

6 正期産の定義はどれか。

1. 妊娠 36 週 0 日から 40 週 6 日
2. 妊娠 37 週 0 日から 41 週 6 日
3. 妊娠 38 週 0 日から 42 週 6 日
4. 妊娠 39 週 0 日から 43 週 6 日

7 日本の女性の平均閉経年齢に最も近いのはどれか。

1. 40 歳
2. 45 歳
3. 50 歳
4. 55 歳

8 日本の平成 25 年(2013 年)における家族の世帯構造で最も少ないのはどれか。

1. 単独世帯
2. 三世代世帯
3. 夫婦のみの世帯
4. 夫婦と未婚の子のみの世帯

9 保健所の設置主体で正しいのはどれか。

1. 国
2. 都道府県
3. 社会福祉法人
4. 独立行政法人

10 チーム医療で正しいのはどれか。

1. 国家資格を持つ者で構成される。
2. リーダーとなる職種を固定する。
3. 他施設との間で行うことはできない。
4. メンバー間で情報を共有して意思決定をする。

11 内分泌器官はどれか。

1. 乳 腺
2. 涙 腺
3. 甲状腺
4. 唾液腺

12 臓器の移植に関する法律における脳死の判定基準に含まれるのはどれか。

1. 低体温
2. 心停止
3. 平坦脳波
4. 下顎呼吸

13 高齢者の体重に占める水分量の割合に最も近いのはどれか。

1. 45 %
2. 55 %
3. 65 %
4. 75 %

14 徐脈性の不整脈で起こりやすいのはどれか。
arrhythmia

1. 失 語
2. 失 行
3. 失 神
4. 失 明

15 糖尿病の血糖コントロールの指標となる検査値はどれか。
diabetes mellitus

1. 総ビリルビン
2. 総コレステロール
3. グリコヘモグロビン
4. クレアチニンクリアランス

16 認知症の中核症状はどれか。
dementia

1. 幻 聴
2. 抑うつ
3. 希死念慮
4. 見当識障害

17 ステロイド薬の副作用(有害事象)はどれか。

1. 便秘
2. 口内炎
stomatitis
3. 低血圧
4. 骨粗鬆症
osteoporosis

18 骨盤底筋訓練が最も有効なのはどれか。

1. 溢流性尿失禁
overflow incontinence of urine
2. 切迫性尿失禁
urge incontinence of urine
3. 反射性尿失禁
reflex incontinence of urine
4. 腹圧性尿失禁
stress incontinence of urine

19 口腔ケアで適切なのはどれか。

1. 歯肉出血がある場合は実施しない。
2. 含嗽ができない患者には禁忌である。
3. 経口摂取の有無に関係なく実施する。
4. 総義歯の場合は義歯を入れた状態で実施する。

20 医療法施行規則に定められている療養病床に係る多床室の床面積は、患者1人につき[]m²以上である。

[]に入るのはどれか。

1. 2.3
2. 3.3
3. 4.3
4. 5.3

21 注射針を皮膚に対して45～90度の角度で刺入するのはどれか。

1. 皮内注射
2. 皮下注射
3. 筋肉内注射
4. 静脈内注射

22 薬剤の血中濃度の上昇が最も速い与薬方法はどれか。

1. 坐薬
2. 経口薬
3. 筋肉内注射
4. 静脈内注射

23 患者が自己採血で簡単に測定できるのはどれか。

1. 血糖
2. カリウム
3. カルシウム
4. アルブミン

- 24 ベンチュリーマスクの写真(別冊No. 1 ①~④)を別に示す。
酸素流量の設定と併せて吸入酸素濃度を調節するのはどれか。
1. ①
 2. ②
 3. ③
 4. ④



- 25 災害による心理的ストレスが身体反応として最も強く現れる時期はどれか。
1. 発災後3～7日
 2. 発災後2週～1か月
 3. 発災後半年～3年
 4. 発災後4年日以降
- 26 筋収縮で正しいのはどれか。
1. 筋収縮はミオシンの短縮である。
 2. アクチンにATP分解酵素が存在する。
 3. α 運動ニューロンは筋紡錘を興奮させる。
 4. 筋小胞体からカルシウムイオンが放出される。

27 血管に吻合がないのはどれか。

1. 皮静脈
2. 冠動脈
3. 膝窩動脈
4. 腸絨毛の毛細血管

28 一次脱水でみられるのはどれか。

1. 尿量の減少
2. 血漿浸透圧の低下
3. バソプレシンの分泌の抑制
4. 血漿ナトリウムイオン濃度の低下

29 膵臓から分泌されるのはどれか。

1. ガストリン
2. カルシトニン
3. アルドステロン
4. ソマトスタチン

30 男性生殖器について正しいのはどれか。

1. 精巣は腹腔内にある。
2. 精嚢は精子を貯留する。
3. 前立腺は直腸の前面に位置する。
4. 右精巣静脈は腎静脈に流入する。

31 腹部の検査の画像(別冊No. 2 ①～④)を別に示す。

生体の代謝を利用した検査はどれか。

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④



32 医療保険について正しいのはどれか。

1. 医療給付には一部負担がある。
2. 高額療養費の受給には年齢制限がある。
3. 市町村国民健康保険は職域保険の1つである。
4. 後期高齢者医療における公費負担は8割である。

33 日本の平成23年度(2011年度)の国民医療費について正しいのはどれか。

1. 総額は約25兆円である。
2. 財源の約半分は保険料である。
3. 国民所得に対する比率は5%台である。
4. 人口1人当たりでは65歳以上が65歳未満の約2倍である。

- 34 地域子育て支援センターの整備を掲げたのはどれか。
1. 児童福祉法
 2. 新エンゼルプラン
 3. 次世代育成支援対策推進法
 4. 児童虐待の防止等に関する法律
- 35 学校保健について正しいのはどれか。
1. 学校医は健康相談を実施する。
 2. 校長は学校医を置くことができる。
 3. 教育委員会は小学校入学1年前の児童に対して健康診断を実施する。
 4. 学校医は感染症に罹患した児童生徒の出席を停止させることができる。
- 36 高齢者が趣味の絵画を地区の展覧会に発表したいという欲求はどれか。
1. 自尊の欲求
 2. 所属の欲求
 3. 安全の欲求
 4. 生理的欲求
- 37 根拠に基づいた看護〈EBN〉で最も適切なのはどれか。
1. 患者の好みは参考にしない。
 2. 先輩看護師の行動を模倣する。
 3. 研究論文の有用性を検討する。
 4. 既存の看護業務基準を遵守する。

38 患者の状態と看護師のコミュニケーションの方法との組合せで正しいのはどれか。

1. 構音障害 ————— 発音を促す
2. 聴力障害 ————— 後方から声をかける
3. 認知症 ————— 患者のペースに合わせて話す
dementia
4. 失語 ————— 言葉の誤りを繰り返し訂正する

39 フィジカルアセスメントにおいて触診で判断するのはどれか。

1. 腱反射の有無
2. 瞬目反射の有無
3. 腸蠕動運動の有無
4. リンパ節の腫脹の有無

40 針刺し事故対策で最も適切なのはどれか。

1. 針刺し部位を消毒液に浸す。
2. 注射針のリキャップを習慣化する。
3. 事故の当事者を対象にした研修を行う。
4. 使用済みの針は専用容器に廃棄することを徹底する。

41 片麻痺のある患者の歩行介助で正しいのはどれか。

1. 患者の患側に立つ。
2. 靴底は摩擦が少ないものを準備する。
3. 杖を使用する場合は杖を持つ側で介助する。
4. 階段を昇る場合は患側下肢から昇るように指導する。

42 冷罨法の目的はどれか。

1. 腸蠕動の促進
2. 筋緊張の除去
3. 機能訓練の前処置
4. 局所の炎症の抑制

43 胃洗浄を行うときの体位で最も適切なのはどれか。

1. 仰臥位
2. 腹臥位
3. 左側臥位
4. 右側臥位

44 Aさん(59歳、男性)は、糖尿病で内服治療中、血糖コントロールの悪化を契機に膵癌と診断され手術予定である。HbA1c 7.0%のため、手術の7日前に入院し、食事療法、内服薬およびインスリンの皮下注射で血糖をコントロールしている。Aさんは、空腹感とインスリンを使うことの不安とで、怒りやすくなっている。

Aさんに対する説明で適切なのはどれか。

1. 「手術によって糖尿病は軽快します」
2. 「術後はインスリンを使用しません」
3. 「少量であれば間食をしても大丈夫です」
4. 「血糖のコントロールは術後の合併症を予防するために必要です」

45 冠動脈バイパス術(CABG)後5時間が経過したとき、心嚢ドレーンからの排液が減少し、血圧低下と脈圧の狭小化とがあり、「息苦しい」と患者が訴えた。

最も考えられるのはどれか。

1. 肺梗塞
pulmonary infarction
2. 不整脈
arrhythmia
3. 心筋虚血
4. 心タンポナーデ

46 Aさん(48歳、男性)は、直腸癌のため全身麻酔下で手術中、出血量が多く輸血が行われていたところ、41℃に体温が上昇し、頻脈となり、血圧が低下した。麻酔科医は下顎から頸部の筋肉の硬直を確認した。既往歴に特記すべきことはない。

この状況の原因として考えられるのはどれか。

1. アナフィラキシー
2. 悪性高熱症
malignant hyperthermia
3. 菌血症
bacteremia
4. 貧血

47 慢性副鼻腔炎についての説明で適切なのはどれか。
chronic sinusitis

1. 1週間の内服で症状が軽減すれば受診の必要はない。
2. 発症後1週は空気感染の危険性がある。
3. 眼窩内感染を起こす危険性がある。
4. 透明の鼻汁が特徴的である。

- 48 過活動膀胱の説明で正しいのはどれか。
overactive bladder
1. 尿意切迫感がある。
 2. 失禁することはない。
 3. 水分を制限して治療する。
 4. 50 歳台の有病率が最も高い。
- 49 ハヴィガースト, R. J. による発達課題のうち、老年期の発達課題はどれか。
Havighurst, R. J.
1. 健康の衰退に適応する。
 2. 大人の余暇活動を充実する。
 3. 個人としての自立を達成する。
 4. 大人の社会的な責任を果たす。
- 50 エイジズムを示す発言はどれか。
1. 「介護を要する高齢者を社会で支えるべきだ」
 2. 「後期高齢者は車の運転免許証を返納するべきだ」
 3. 「認知症の患者の治療方針は医療従事者が決めるべきだ」
dementia
 4. 「高齢者が潜在的に持つ力を発揮できるような環境を整えるべきだ」
- 51 高齢者の栄養管理について栄養サポートチーム〈NST〉と連携するとき、病棟看護師が行う看護活動で最も適切なのはどれか。
1. 同時期に他のサポートチームが介入しないようにする。
 2. 栄養管理が不十分な高齢者のケアについて助言を得る。
 3. 家族にも栄養サポートチーム〈NST〉の一員になるよう勧める。
 4. 経管栄養法を行っている高齢者数を減らす方法を一緒に考える。

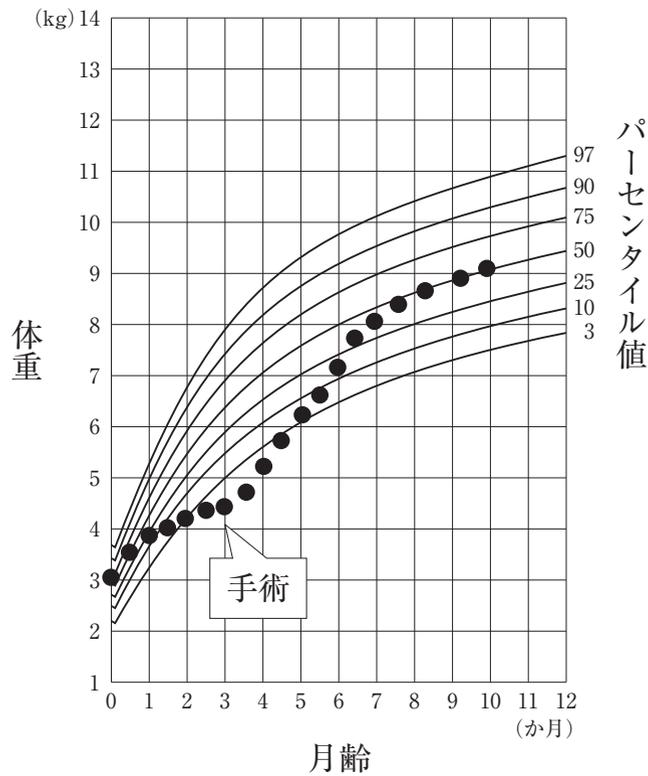
52 Aさん(102歳、女性)は、重度の廃用症候群のために5年前から発語が少なく体を動かすことができない。誤嚥性肺炎aspiration pneumoniaで入退院を繰り返し、終末期である。同居している家族は積極的な治療をしないことを希望し、自宅でAさんを看取ることを決めた。

Aさんの家族への退院時の指導で最も適切なのはどれか。

1. 「24時間付き添ってあげましょう」
2. 「おむつの重さで尿量を測定しましょう」
3. 「苦しそうになったら救急車を呼びましょう」
4. 「Aさんが食べたければ食べさせてあげましょう」

53 Aちゃん(生後10か月、男児)は、先天性心疾患のため手術を受けた。Aちゃんの体重の変化を図に示す。

congenital heart disease



手術後から現在までの体重の変化に対する評価で適切なのはどれか。

1. 体重増加の不良
2. 過度な体重増加
3. 標準的な体重増加
4. キャッチアップ現象

54 小児の骨折の特徴で正しいのはどれか。

1. 不全骨折しやすい。
2. 圧迫骨折しやすい。
3. 骨折部が変形しやすい。
4. 骨癒合不全を起こしやすい。

55 就労している妊婦に適用される措置と根拠法令との組合せで正しいのはどれか。

1. 時差出勤 ————— 母子保健法
2. 産前産後の休業 ————— 児童福祉法
3. 軽易業務への転換 ————— 母体保護法
4. 危険有害業務の制限 ————— 労働基準法

56 低用量経口避妊薬について正しいのはどれか。

1. 血栓症のリスクは増加しない。
2. 1日飲み忘れたときは中止する。
3. 授乳期間を通じて内服は可能である。
4. 副効用に月経前症候群(PMS)の軽減がある。
premenstrual syndrome

57 常位胎盤早期剥離のリスク因子はどれか。

premature abruption of normally implanted placenta

1. 肥 満
2. 妊娠糖尿病
gestational diabetes mellitus
3. 帝王切開術の既往
4. 妊娠高血圧症候群
pregnancy-induced hypertension

58 地域精神保健活動における二次予防はどれか。

1. 精神科病院で統合失調症患者に作業療法を行う。
2. 精神疾患患者に再燃を予防するための教育を行う。
3. 地域の住民を対象にストレスマネジメントの講演会を行う。
4. 会社の健康診断でうつ傾向があると判定された人に面接を行う。

59 疾患と確定診断のために用いられる検査との組合せで最も適切なのはどれか。

1. 脳炎 ————— 脳脊髄液検査
encephalitis
2. パニック障害 ————— 脳波検査
panic disorder
3. 特発性てんかん ————— 頭部MRI
idiopathic epilepsy
4. パーソナリティ障害 ————— 頭部CT
personality disorder

60 生活技能訓練〈SST〉について正しいのはどれか。

1. 退院支援プログラムの1つである。
2. 診断を確定する目的で実施される。
3. セルフヘルプグループの一種である。
4. 精神分析の考え方を応用したプログラムである。

61 精神保健法から精神保健及び精神障害者の福祉に関する法律への改正で行われたのはどれか。

1. 私宅監置の廃止
2. 任意入院の新設
3. 通院医療公費負担制度の導入
4. 精神障害者保健福祉手帳制度の創設

62 介護保険被保険者で介護保険による訪問看護が提供されるのはどれか。

1. 脳血管疾患
cerebrovascular disease
2. 末期の結腸癌
colon cancer
3. 脊髄小脳変性症
spinocerebellar degeneration
4. 進行性筋ジストロフィー
progressive muscular dystrophy

- 63 訪問看護ステーションの管理・運営について正しいのはどれか。
1. 事務所を設置する必要はない。
 2. 訪問看護の利用回数の調整は市町村が行う。
 3. 利用者が希望すれば訪問看護の記録を開示する。
 4. 利用者とのサービス契約後に重要事項を説明する。
- 64 医療安全と関連する方法の組合せで誤っているのはどれか。
1. 院内感染対策 ————— プライマリナーシング
 2. 事故防止対策 ————— インシデントレポート
 3. 医療の質の保証 ————— クリニカルパス
 4. 手術時の安全対策 ————— タイムアウト
- 65 診療情報を第三者に開示する際、個人情報の保護として正しいのはどれか。
1. 死亡した患者の情報は対象にならない。
 2. 個人情報の利用目的を特定する必要はない。
 3. 特定機能病院では本人の同意なく開示できる。
 4. 法令に基づく保健所への届出に関して本人の同意は不要である。
- 66 Aさん(75歳、男性)は、2型糖尿病で超速効型インスリンによる治療を行っている。
type 2 diabetes mellitus
- 災害に備えてAさんに指導する必要があるのはどれか。
1. 開封したインスリンは1年間使用できる。
 2. 使用しているインスリンの名称を正確に覚える。
 3. 消毒薬の入手が難しい場合は消毒せずに注射してもよい。
 4. 平常時と同じように非常時もインスリン注射は食前に行う。

67 国際機関と事業内容の組合せで正しいのはどれか。

1. 国連難民高等弁務官事務所〈UNHCR〉 ————— 有償資金協力
2. 国連教育科学文化機関〈UNESCO〉 ————— 児童の健康改善
3. 世界保健機関〈WHO〉 ————— 感染症対策
4. 国際労働機関〈ILO〉 ————— 平和維持活動

68 頭部 CT(別冊No. 3)を別に示す。

出血部位について正しいのはどれか。

1. 皮下組織
2. 硬膜外腔
3. くも膜下腔
4. 脳実質内
5. 脳室内

別 冊

No. 3

69 動脈硬化を直視して評価できる血管はどれか。

1. 冠動脈
2. 眼底動脈
3. 大腿動脈
4. 腹部大動脈
5. 中大脳動脈

70 接触性皮膚炎の原因となるアレルギー反応で正しいのはどれか。
contact dermatitis

1. I 型
2. II 型
3. III 型
4. IV 型
5. V 型

71 膀胱留置カテーテルの写真(別冊No. 4 ①～⑤)を別に示す。

成人女性に膀胱留置カテーテルが挿入されている場合、体内に留置されている長さで最も適切なのはどれか。

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④
5. ⑤



72 Aさん(60歳、男性)は、胃癌の手術目的で入院した。大動脈弁置換術を受けた
既往があり、内服していたワルファリンをヘパリンに変更することになった。
gastric cancer

確認すべきAさんの検査データはどれか。

1. PT-INR
2. 赤血球数
3. 白血球数
4. 出血時間
5. ヘモグロビン値

73 膀胱癌のため尿路ストーマを造設する予定の患者への説明で適切なのはどれか。
bladder cancer

1. 「尿道の一部を体外に出して排泄口を造ります」
2. 「尿意を感じたらトイレで尿を捨てます」
3. 「ストーマの装具は毎日貼り替えます」
4. 「ストーマに装具を付けて入浴します」
5. 「水分の摂りすぎに注意が必要です」

74 認知症対応型共同生活介護(認知症高齢者グループホーム)で正しいのはどれか。

1. 光熱費は自己負担である。
2. 12人を1つのユニットとしている。
3. 看護師の配置が義務付けられている。
4. 介護保険制度の施設サービスである。
5. 臨死期は提携している病院に入院する。

75 Aちゃん(3歳、女兒)は、病室で朝食を食べていた。そこに、医師が訪室して採血を行いたいと話したところ、Aちゃんは何も答えず下を向いて泣き始めた。その様子を見ていた看護師は、Aちゃんは朝食を中断して採血されるのは嫌だと思っているようなので、朝食後に採血して欲しいと医師に話した。

この看護師の対応の根拠となる概念はどれか。

1. アセント
2. コンセント
3. アドボカシー
4. ノーマライゼーション
5. ノンコンプライアンス

76 3か月の乳児の親に対する問診で**適切でない**のはどれか。

1. 「寝返りをしますか」
2. 「あやすとよく笑いますか」
3. 「物を見て上下左右に目で追いますか」
4. 「アーアー、ウーウーなど声を出しますか」
5. 「腹ばいにすると腕で体を支えて頭を持ち上げますか」

77 萎縮性膣炎に伴う状態について正しいのはどれか。
atrophic vaginitis

1. 性交痛
2. 白色の帯下
3. 膣壁の肥厚化
4. 膣の自浄作用の亢進
5. エストロゲン分泌の増加

78 うつ病で入院している患者が「自分は重大な過ちで皆に迷惑をかけてしまいました。
depression

た。死んでおわびします」という妄想を訴えた。

この患者にみられるのはどれか。

1. 罪業妄想
2. 心気妄想
3. 追跡妄想
4. 被毒妄想
5. 貧困妄想

79 訪問看護師が人工肛門を造設して退院した在宅療養者を訪問すると「便が漏れるため外出ができない」と相談を受けた。観察すると、ストーマパウチの面板が皮膚に密着していない。

看護師の対応で適切なのはどれか。

1. 無菌操作で交換する。
2. 頻回に交換するよう説明する。
3. 面板を温めて皮膚に貼付する。
4. 面板を人工肛門より小さめに切る。
5. 腹壁の皮膚を寄せて面板を貼付する。

80 トリアージタグを装着する部位の優先順位で適切なのはどれか。

1. 頸部→右手→左手→右足→左足
2. 頸部→左手→左足→右手→右足
3. 右手→右足→左手→左足→頸部
4. 右手→左手→右足→左足→頸部
5. 左手→右手→左足→右足→頸部

81 立ち直り反射に関与するのはどれか。2つ選べ。

1. 視細胞
2. コルチ器
3. 圧受容器
4. 化学受容器
5. 頸筋の筋紡錘

82 ヒト免疫不全ウイルス(HIV)の感染経路で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 感染者の嘔吐物との接触
2. 感染者の咳による曝露
3. 感染者の糞便との接触
4. 感染者からの輸血
5. 感染者との性行為

83 慢性腎不全によって起こるのはどれか。2つ選べ。
chronic renal failure

1. 低血圧
2. 低リン血症
3. 低カリウム血症
4. 低カルシウム血症
5. 代謝性アシドーシス

84 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律に定められているのはどれか。2つ選べ。

1. 離婚調停の支援
2. 成年後見制度の利用
3. 保健所による自立支援
4. 婦人相談員による相談
5. 裁判所による接近禁止命令

85 パルスオキシメータによる経皮的動脈血酸素飽和度〈SpO₂〉の測定に適した部位はどれか。2つ選べ。

1. 背 部
2. 上 腕
3. 指 先
4. 耳たぶ
5. 大腿部

86 Aさん(60歳、男性)は、転倒して第5頸椎レベルの脊髄を損傷した。肩を上げることはできるが、上肢はわずかに指先を動かせる程度である。呼吸数22/分、脈拍86/分、血圧100/70 mmHg、経皮的動脈血酸素飽和度(SpO₂)97%であった。Aさんは「息がしづらい」と言っている。

Aさんの状態で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 低酸素血症がある。
hypoxemia
2. 胸郭運動がみられる。
3. 無気肺を起こしやすい。
atelectasis
4. 腹式呼吸を行っている。
5. 閉塞性換気障害を起こしている。
obstructive ventilatory impairment

87 Aさん(35歳、女性、会社員)は、動悸、手指の震え及び体重減少があり、受診したところ、頻脈と眼球突出とを指摘され抗甲状腺薬の内服を開始した。Aさんは看護師に「仕事のストレスは寝る前にビールを飲むことで解消するようにしているが、ちょっとしたことでイライラして眠れない」と話した。

Aさんへの説明で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 「仕事を休みましょう」
2. 「禁酒する必要があります」
3. 「積極的に運動しましょう」
4. 「発熱したときは受診してください」
5. 「病気が原因でイライラしやすくなります」

88 Aさん(42歳、女性)は、2週前から腰痛と坐骨神経痛とを発症し整形外科で処方された鎮痛薬を内服している。帯下が増えて臭いもあるため婦人科を受診し、子宮頸癌と診断された。

cancer of the uterine cervix

進行期を決めるためにAさんに行われる検査で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. ヒトパピローマウイルス検査
2. 小腸内視鏡検査
3. 腎盂尿管造影
4. 脊髄造影
5. CT

89 児の免疫に関する説明で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 胎児期は胎盤を通じて母体からIgGを受け取る。
2. 出生後は母乳からIgMを受け取る。
3. 生後3か月ころに免疫グロブリンが最も少なくなる。
4. 1歳ころから抗体の産生が盛んになる。
5. 3歳ころにIgAが成人と同じレベルに達する。

90 500 mL の輸液を 50 滴/分の速度で成人用輸液セットを用いて順調に滴下し、現在 80 分が経過した。

このときの輸液の残量を求めよ。

ただし、小数点以下の数値が得られた場合には、小数点以下第 1 位を四捨五入すること。

解答： mL

- | ① | ② | ③ |
|---|---|---|
| 0 | 0 | 0 |
| 1 | 1 | 1 |
| 2 | 2 | 2 |
| 3 | 3 | 3 |
| 4 | 4 | 4 |
| 5 | 5 | 5 |
| 6 | 6 | 6 |
| 7 | 7 | 7 |
| 8 | 8 | 8 |
| 9 | 9 | 9 |

次の文を読み 91～93 の問いに答えよ。

Aさん(64歳、女性)は、慢性閉塞性肺疾患chronic obstructive pulmonary diseaseで通院加療中である。1週間前から感冒様症状があり市販薬を服用し経過をみていたが、呼吸困難を訴えた後、反応が鈍くなり救急車で搬送された。Aさんは肩呼吸をしており、発汗が著明で口唇は乾燥している。体温 38.3℃、呼吸数 35/分、脈拍 108/分、血圧 96/70 mmHg、経皮的動脈血酸素飽和度(SpO₂)89%であった。ジャパン・コーマ・スケール(JCS)Ⅱ-30。動脈血液ガス分析では動脈血酸素分圧(PaO₂)60 Torr、動脈血炭酸ガス分圧(PaCO₂)68 Torr、pH 7.29であった。

91 この時点でのAさんのアセスメントで誤っているのはどれか。

1. 脱水である。
2. 意識障害がある。
3. アシドーシスである。
4. ショック状態である。

92 Aさんは肺炎による急性呼吸不全と診断され、点滴、膀胱留置カテーテルの挿入pneumoniaおよび気管内挿管が実施された。

このときのAさんの観察で最も注意すべき状態はどれか。

1. 乏尿
2. 血圧上昇
3. 末梢冷感
4. 下肢の浮腫
5. 呼吸音の減弱

93 Aさんは、胸部エックス線写真で右中下肺野の浸潤影が認められ、膿性の痰が吸引されている。

このときの体位ドレナージで最も効果的なのはどれか。

1. 右 30° 側臥位
2. 左 30° 側臥位
3. 右前傾側臥位
4. 左前傾側臥位
5. 腹臥位

次の文を読み 94～96 の問いに答えよ。

Aさん(34歳、男性)は、運送会社で配達を担当している。6か月前の職場の健康診断で、血圧142/90 mmHgと尿蛋白2+、尿潜血2+を指摘されたが放置していた。1週間前、感冒様症状の後に紅茶色の尿がみられたため内科を受診した。血清IgAが高値でIgA腎症が疑われ入院した。

IgA nephropathy

94 確定診断のために必要な検査はどれか。

1. 腎生検
2. 尿細胞診
3. 腎血管造影
4. 腹部超音波検査
5. 腎シンチグラフィ

95 AさんはIgA腎症と診断され、塩分1日6gの減塩食が開始された。入院前は塩辛いものが好物で外食が多かったAさんは「味が薄くて食べた気がしない。退院後も続けられるかな」と話している。

IgA nephropathy

このときの対応で最も適切なのはどれか。

1. 「つらいですが慣れてきます」
2. 「最初に甘いものを食べてください」
3. 「各食事で均等に塩分を摂取しましょう」
4. 「酸味や香味を利用するとよいでしょう」
5. 「市販のレトルト食品は塩分が少ないので活用するとよいです」

96 Aさんは退院後、仕事が忙しくなり一度も受診をせずに2年が経過した。2か月前から疲れやすくなったが、仕事のせいだと思い放置していた。1週間前から息切れ、食欲不振および浮腫があり、昨日から眠気、悪心および嘔吐が出現したため外来を受診した。体温 36.5℃、脈拍 98/分、血圧 238/112 mmHg であった。血液検査データは、尿素窒素 100 mg/dL、クレアチニン 12.0 mg/dL、Hb 7.1 g/dL。胸部エックス線写真で心拡大と肺うっ血とが認められ入院した。

直ちに行われるのはどれか。2つ選べ。

1. 輸血
2. 血液透析
3. 利尿薬の内服
4. 胸腔ドレナージ
5. 降圧薬の点滴静脈内注射

次の文を読み 97～99 の問いに答えよ。

Aさん(94歳、男性)は、要介護1で、妻(84歳)と2人暮らしであった。肺炎で入院治療していたが本日退院し、介護老人保健施設に初めて入所した。現在の障害高齢者の日常生活自立度判定基準はランクB-2、認知症高齢者の日常生活自立度判定基準はランクⅡaである。食欲は良好で、食事の姿勢や動作は自立している。部分義歯で不具合はなく、口腔内の異常はない。

97 入所時の身長170 cm、体重50 kg。1か月間で体重が3 kg減少した。血液検査データは、血清アルブミン3.2 g/dL、CRP 0.1 mg/dL。反復唾液嚥下テストは30秒間で4回である。

Aさんの状態のアセスメントで適切なのはどれか。

1. 流動食が必要である。
2. 炎症反応が続いている。
3. 認知症による摂食行動の問題がある。
dementia
4. タンパク質・エネルギー低栄養状態(PEM)である。

98 介護老人保健施設の看護師は、入所時にAさんと妻と面談をした。

このときの面談内容で適切なのはどれか。

1. 自宅の改修を提案する。
2. ベッド上安静の必要性を説明する。
3. 急変時の救急搬送の希望を確認する。
4. 通所リハビリテーションの利用を提案する。

99 入所後3日。Aさんは「家では朝起きてすぐに歯磨きをして、口の中をすっきりさせて1日が始まった。ここでは、歯磨きは食後に介助すると言われたが、私は嫌だ」と言い、不満な様子である。Aさんはベッドから車椅子への移乗に介助が必要であるが、歯ブラシとコップとを用いて自分で歯磨きができる。

このときのAさんへの対応で最も適切なのはどれか。

1. 朝食前の歯磨きは効果がないと説明する。
2. 朝食前の歯磨きの習慣を変更するように勧める。
3. 朝食前の歯磨きの援助方法をAさんと相談する。
4. 朝食前は職員が少ないので対応できないと謝罪する。

次の文を読み 100～102 の問いに答えよ。

A君(6歳、男児)は、昨日午後から今朝にかけて5回の下痢便がみられ、体温が38.0℃であったため祖母と受診した。経口摂取は昨日の昼食が最後である。便の簡易検査の結果、ノロウイルスによる胃腸炎と診断され、個室に入院した。入院後、末梢静脈ラインが左手背に留置され持続点滴が開始された。両親は同様の症状があるため面会できない。祖母が帰宅した後、A君は顔をしかめ、側臥位で膝を腹部の方に寄せ抱えるようにしている。バイタルサインは、体温37.5℃、呼吸数36/分、心拍数120/分であった。

100 このときのA君に行く看護として最も適切なのはどれか。

1. 起座位をとらせる。
2. 食事の開始を検討する。
3. 好きな玩具で遊ばせる。
4. 痛みの程度を評価する。
5. 解熱鎮痛薬を服薬させる。

101 A君は病室内のトイレで排泄をしていた。看護師はマスク、手袋およびエプロンを着用しA君の排泄介助を行っている時、下着に便が付着していることに気付いた。看護師は、すぐにA君の下着を脱がせ流水で便を洗い流した。

下着の処理の方法で正しいのはどれか。

1. 病室内のゴミ箱に捨てる。
2. 病室内でエタノールに浸す。
3. 病室内で次亜塩素酸ナトリウム溶液に浸す。
4. 病室外の汚物処理室の感染性廃棄物用の容器に捨てる。

102 入院後3日になったが両親は来院できない状況が続いている。A君は下痢が改善し体温も下がり笑顔がみられるようになった。看護師が清拭しながらA君と話していると「僕がお母さんの言うことを聞かなかったから病気になっちゃったんだ」と話した。

このときの看護師の対応で適切なのはどれか。

1. 「お母さんが悲しむからそんなことを言ってはいけないよ」
2. 「気持ちは分かるけれど病気になったのはA君のせいではないよ」
3. 「A君の言うとおりでとすると入院している子はみんな悪い子なのかな」
4. 「お母さんの言うことを聞いていたら病気にならなかったかもしれないね」

次の文を読み 103～105 の問いに答えよ。

Aちゃん(生後5か月、女児)は、出生時、膣の後方に瘻孔があり、腸内容物が排出され、低位鎖肛と診断された。他に奇形は認められず、瘻孔は膣と尿道に交通してanal atresia with a low lesionいなかったため、体重増加を待って会陰式肛門形成術を行う予定とされていた。Aちゃんは順調に体重が増加しており、定期受診のため来院した。

103 受診時の観察項目で優先度が高いのはどれか。

1. 活 気
2. 腹部膨満
3. 腹部腫瘤
4. チアノーゼ

104 Aちゃんは、定期受診の1か月後、予定どおり会陰式肛門形成術を行った。術後2日、1日に6回の排便があり、造設された肛門周囲に発赤がみられている。排便後の対応で最も適切なのはどれか。

1. 石けんで洗浄する。
2. 微温湯で洗浄する。
3. お尻拭きシートで拭き取る。
4. ポビドンヨードで消毒をする。

105 術後2週、全身状態や創部の状態が安定し、肛門拡張のためのブジーが開始された。退院後もブジーを継続するため母親に指導を行うことになった。

ブジーの指導で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 「食後は避けてください」
2. 「腹臥位で行ってください」
3. 「できるだけ深く入れてください」
4. 「排便があった日は行わなくてよいです」
5. 「直腸の向きに沿ってゆっくり入れてください」

次の文を読み 106～108 の問いに答えよ。

Aさん(20歳、女性、大学生)は、最近、同じ大学に所属するパートナー(21歳、男性)との性交後に白色帯下が増えた。外陰部に腫瘍はみられず搔痒感や痛みはないが、時々、下腹部に痛みがあった。Aさんは性感染症<STD>を疑い、1人で産婦人科クリニックを受診した。診察時の体温 36.8℃、脈拍 62/分であった。

106 Aさんの状態に最もあてはまる性感染症<STD>はどれか。
sexually transmitted disease

1. 性器ヘルペス
genital herpes
2. 尖圭コンジローマ
condyloma acuminatum
3. 膣トリコモナス症
vaginal trichomonas infection
4. 性器クラミジア感染症
genital chlamydiosis

107 Aさんは「彼とは交際を続けたいので、性感染症<STD>のことは黙っていてもよいですか。今日、相談に来たことも彼には話していません」と看護師に話した。

Aさんに対する看護師の対応で最も適切なのはどれか。

1. パートナーには話さなくてもよいと伝える。
2. パートナーに来院を促す電話をすると伝える。
3. Aさんが通う大学の保健センターの看護師に相談するよう勧める。
4. 性感染症<STD>に罹患したことをAさんからパートナーに伝えるよう勧める。
sexually transmitted disease

108 Aさんは医師から「パートナーにも感染の可能性があるので性交渉をしないように」と説明を受けた。Aさんは看護師に「パートナーとはいつから性交渉をしてもよいですか」と相談した。

性交渉を再開する時期の説明で正しいのはどれか。

1. 処方された内服薬をAさんが飲み終えた後
2. Aさんの性感染症<STD>の症状がなくなった後
sexually transmitted disease
3. パートナーが性感染症<STD>の検査を受けた後
sexually transmitted disease
4. Aさんとパートナーの性感染症<STD>の治癒が確認された後
sexually transmitted disease

次の文を読み 109～111 の問いに答えよ。

Aさん(36歳、経産婦)は、夫と長男(3歳)との3人で暮らしている。妊娠40週0日、午前9時にAさんは陣痛開始のため入院した。このときは未破水であった。午後1時、体温36.8℃、脈拍64/分、血圧126/70 mmHgであった。Aさんに分娩監視装置を装着したところ、陣痛間欠4分、胎児心拍数基線は140 bpmで、一過性徐脈はみられなかった。午後2時、破水感があり医師が診察したところ、子宮口は7 cm開大であり、羊水の流出がみられた。

109 この時点でのAさんのアセスメントで適切なのはどれか。

1. 胎児頻脈
2. 前期破水
3. 分娩第1期
4. 妊娠高血圧症候群
pregnancy-induced hypertension

110 午後2時30分、Aさんは3,300 gの女児を正常分娩した。分娩時の出血量は200 mLであった。産褥3日、体温37.0℃、脈拍76/分、血圧118/60 mmHgであった。血液データは、Hb 11 g/dL、Ht 35%であった。子宮底の位置は臍下2横指で硬く、赤色の悪露がみられた。乳房は左右とも張り、乳管の開口数は3本ずつで黄色の乳汁が分泌している。乳頭の伸びは少なく児が吸啜するまでに時間がかかっている。

看護師のAさんへの対応で最も適切なのはどれか。

1. 鉄分の多い食事を勧める。
2. 子宮底に冷罨法を行う。
3. 乳頭のケアを行う。
4. 授乳を中止する。

111 産褥4日、Aさんの体調は回復し、退院が決定した。夫に連れられて来た長男が赤ちゃんを珍しそうに見ている。Aさんは退院後に長男の退行現象が現れることを心配している。

Aさんへの説明で適切でないのはどれか。

1. 「長男と2人きりになる時間をつくるようにしましょう」
2. 「長男と一緒に赤ちゃんのおむつを交換しましょう」
3. 「長男にしっかりするように話しましょう」
4. 「長男をほめて安心させましょう」

次の文を読み 112～114 の問いに答えよ。

Aさん(42歳、男性)は、全身倦怠感を訴え病院を受診したところ、肝機能障害が認められ内科に入院した。Aさんは大量飲酒を長期間続けており、アルコール依存症alcohol dependenceが疑われた。内科医からの依頼で精神科医が診察をしたときは、Aさんは意識清明で見当識障害はなかった。妻とは不仲であり、半年前に仕事で大きなトラブルがあったため、朝から飲酒するようになり飲酒量はさらに増えていた。

112 Aさんに認められるのはどれか。

1. 病的酩酊
2. 妻との共依存
3. コルサコフ症候群
Korsacoff syndrome
4. アルコールに対する耐性

113 入院後2日、夜間にAさんは「壁や布団に虫がたくさんいる」と訴え、興奮して眠らなかった。

考えられるのはどれか。

1. 振戦せん妄
2. アルコール幻覚症
3. レム睡眠行動障害
4. 急性アルコール中毒
acute alcohol intoxication

114 その後、薬物治療によって興奮は改善した。肝機能も改善し、夜間もよく眠れるようになったため、退院が決定した。

Aさんに対する退院時の説明で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 「仕事は辞めましょう」
2. 「断酒会に参加しましょう」
3. 「集団精神療法を受けましょう」
4. 「飲酒しない日を週1日設けましょう」
5. 「生活行動を家族に記録してもらいましょう」

次の文を読み 115～117 の問いに答えよ。

Aさん(42歳、女性)は、2年前に筋萎縮性側索硬化症(ALS)の確定診断を受けた。
amyotrophic lateral sclerosis
夫(50歳)と長女(16歳)と自宅で過ごしている。Aさんは「なるべく口から食べるようにしたい」と話し、食事と併せて胃瘻から栄養剤の注入を行っている。要介護2の認定を受け、訪問看護および訪問介護を利用している。食事の介助を行う夫から、訪問看護師に「介助の方法が良くないのか、妻はうまく飲み込めていません」と相談の電話があった。

115 夫に対する訪問看護師の対応として最も適切なのはどれか。

1. 「食事の介助に時間をかけましょう」
2. 「胃瘻からの栄養量を増やしましょう」
3. 「介助方法に問題があるかもしれません」
4. 「嚥下食の宅配サービスを頼んでみましょう」
5. 「飲み込みの状態に応じた食事を一緒に考えましょう」

116 6か月後、Aさんは呼吸障害と嚥下障害とが進行し、気管切開による人工呼吸療法を開始するために入院した。

退院に向けて病棟看護師が行う家族への気管内吸引の説明として最も適切なのはどれか。

1. 夜間に定期的な吸引を行う。
2. 就寝前に体位ドレナージを行う。
3. 気道内圧が低下したら吸引する。
4. 吸引時は気管カニューレのカフ圧を上げる。

117 Aさんは要介護5に区分が変更され、自宅で療養通所介護を利用することになった。退院後1か月、Aさんは療養通所介護の看護師に「ゆっくりお風呂に入ってみたい」と文字盤を使って話した。入浴を開始するにあたり、看護師と介護職員との間でカンファレンスを行うことになった。

検討する内容として優先順位が高いのはどれか。

1. 夫の介護負担
2. 座位の保持能力
3. 緊急時の対応方法
4. 入浴後の人工呼吸器の回路交換の方法
5. 入浴時の関節可動域(ROM)訓練の実施

次の文を読み 118～120 の問いに答えよ。

Aさん(50歳、女性)は、子宮頸癌cancer of the uterine cervixの終末期で入院し緩和ケア治療を行っている。倦怠感強いが食事は摂れている。麻薬を使用し疼痛のコントロールはできており、ふらつきはあるがトイレ歩行はできる。医師からは余命2か月と告知されており、退院して自宅で最期を迎えたいと希望している。主な介護者となる夫は58歳で、5年前の脳梗塞cerebral infarctionの後遺症で不全麻痺がある。経済的には安定している。子どもはいない。

118 病棟看護師はAさんと夫とを交えてカンファレンスを行った。夫は「妻は体力がとて落ちて、見ているのがつらいです。病気が進行すると動けなくなると聞きました。私は介護に自信がありません」と不安を訴えた。

Aさんと夫への今後の不安に対する対応として最も適切なのはどれか。

1. 生活保護の手続きをするよう促す。
2. 要介護認定の申請手続きをするよう促す。
3. 家事をしてくれる人を雇用するよう促す。
4. 訪問リハビリテーションの利用を勧める。

119 看護師が退院に向けて最も連携すべき職種はどれか。

1. 理学療法士
2. 管理栄養士
3. 介護支援専門員
4. 保健所の保健師

120 退院後1か月。訪問看護ステーションの看護師が訪問した際、夫から「妻は痛みで苦しんでいる様子はない。トイレと食事以外は眠っていることが多く、このまま死んでしまうのでしょうか。家で看取ることができるか不安です」と相談を受けた。夫への支援で最も適切なのはどれか。

1. 夫に頑張るよう励ます。
2. 病院に入院するよう提案する。
3. 麻薬の量を増やすことを提案する。
4. Aさんが希望する看取りの場について再度話し合う。

